

社会インフラ維持管理検討タスクフォース(仮称)の設置について(案)

1. タスクフォース設置の目的

土木学会では、これまで社会インフラの整備が進展する中で、その維持管理の重要性について議論を進めてきたところであるが、平成 24 年 12 月 2 日に中央自動車道笹子トンネルにて発生した事故が示唆するところの重大性に鑑みて、このたび社会インフラ維持管理検討タスクフォース(仮称)(委員長:橋本鋼太郎土木学会次期会長)を設置することとした。

これまで認識されてきたとおり、我が国では、高度経済成長期に整備された多くの社会インフラが、今後急速にかつ同時に高齢化することが見込まれ、これらの社会インフラのストックを今後どのように効率・効果的に維持管理・更新してゆくかが課題となっている。

本タスクフォースでは、産官学の連携により実務的な見地から、以下の論点(素案)に対して検討を加え、今後の維持管理の在り方をとりまとめる。

- 各種社会インフラのストックと現在の高齢化の状態の把握
- 社会インフラの維持管理の実施体制・予算
- 社会インフラの確実・高度な維持管理手法

なお、タスクフォースの活動にあたっては、国土交通省「社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会 社会資本メンテナンス戦略小委員会」での調査審議及び(社)日本建設業連合会「インフラ再生委員会」の議論などを参考にする。

2. 活動方針(案)

- ① 論点の整理
- ② 論点毎の対処戦略の検討
- ③ 上記の検討結果を踏まえて今後の維持管理の在り方の取りまとめ
- ④ 上記の取りまとめ結果を公表

3. 委員の構成(調整中)

- 委員長:橋本鋼太郎 土木学会次期会長
- 副委員長:鈴木基行 東北大学大学院工学研究科 土木工学専攻教授
- 委員の担当分野(案):
 - 構造物(コンクリート、鋼構造)
 - 施設(鉄道、道路、河川・ダム、下水道、港湾、電力)
 - 業務分野(行政、建設業、建設コンサルタント、大学等)

4. スケジュールのイメージ

平成 25 年 1月:TF 活動開始

4月頃:検討状況の公表

6~7月頃:対処戦略の検討結果を取りまとめと公表

⇒今後対応すべき課題を土木学会内の委員会・小委員会
へ引き継ぎ、継続的に検討をおこなう

5. 検討結果の公表の例

- 学会ホームページ
- プレスリリース
- 学会誌
- 講演会
- 座談会

以上